

8月医療安全ニュース

2017年8月17日 あおもり協立病院 医療安全管理室

注意

**ベッド上・介助を必要とするADLの患者さんの、療養上の世話
場面と思われる骨折の報告が続いています**

事例No. 122・121 5月発生 88歳 女性

リハビリのため訪室し背臥位、左上肢を肩外旋・肘屈曲肢位で寝ているのを発見。
普段は、寝たきり・四肢拘縮・上下肢の筋緊張強く、屈曲姿勢で寝ていた。左肩・肘に熱感や腫脹はないが、軽度持ち上げただけで痛みの訴えあり。x-Pで左上腕骨折の診断。

事例No. 358 7月発生 93歳 女性

7/19頃から、体動時の疼痛や、左上肢、左前胸部の皮下出血あるため、主治医の指示で採血しているが、凝固因子系の異常を疑い、異常ないため経過観察となっていた。総胆管結石の治療中であり、食欲低下があり、ADLはベッド上となっていた。しかしその後も体動時の疼痛訴え続き、皮下出血、浮腫が増大しているため7/21に再度主治医へ報告、X-P撮影したところ、左上腕骨折が判明した。

高齢者、女性は特に骨粗鬆症により、骨が脆弱になっている・・・硬縮がある場合は過大な外力をかけやすい・・・認知症や意識レベルの低下がある場合は、痛みの訴えができないなどの複数の要因があります。

ケア・移乗・体位変換場面での骨折予防のため

体位変換・ROM(関節可動域)について学習会開催します！

日程：8月23日(水)・28日(月)・31日(木) 3回とも同じ内容

時間：17時30分～18時30分

場所：リハビリ室 講師：リハビリスタッフ

対象：看護師・介護福祉士・看護助手・放射線技師・検査技師